

保 健 衛 生

看護師 岡崎早苗

利用者の健康状態を昼間及び夜間の生活のあらゆる機会を通して看護師、生活支援員が把握に努めました。また、健康診断や日々の健康状態把握において病気の早期発見に努め、異常等の問題が発生した場合は、早急に医療機関と連絡をとり、通院治療・入院治療を行いました。また、園内処理できるときは、病気の治療・予防等の支援を行いました。

○ 健康診断状況

健 診 名	実 施 日	実施者数	結 果 等	備 考
内科検診	H25・6・6	89名	異常なし	嘱託医 村上光医師
	H25.10.10	88名	異常なし	喜多医師会病院 清家医師
歯科検診	H25・5・16	88名	要治療歯あり 30名 歯石除去 11名	愛媛県歯科医師会による 心身障害者歯科巡回診療
血液検査他	H25・6・5	88名	*治療開始 1名貧血	愛媛県総合保健協会
	H25・10・18～10・25	88名	薬追加 2名	喜多医師会病院
結核健診	H25・9・2～9・25	88名	異常なし	喜多医師会病院
骨塩定量検査	H25・10・1～11・22	84名	異常なし	喜多医師会病院 ※利用者負担分
前立腺検査	H25.10.1～11.22	39名	異常なし (男性のみ)	喜多医師会病院 ※利用者負担分
子宮癌健診	H25・11・14	42名	異常なし (女性のみ)	喜多医師会病院
乳癌健診	H25・11・14	42名	異常なし (女性のみ)	喜多医師会病院
蟯虫検査	H25・8・27～8・28	89名	異常なし	BML 検査機関
	H26・3・4～3・5	88名	異常なし	
精神科検診	H25.6.11～6.12	44名	*薬追加 1名	平成病院

- 毎月 1 回、医務室において、嘱託医 中島隆明精神科医師による診療を行いました。診察を受け、薬の調整等をしていただきました。認知傾向のある方や不安定状態にある方は、診察をうけ継続的な経過観察を行いました。
- 毎月第 4 週目に全員の血圧測定・体重測定を行いました。
- 感染症発症について

(6月10日～6月25日) 胃炎・腸炎発症について

利用者が発症し 1 週間後頃より職員が発症し、終息までに利用者 23 名、職員 8 名、

罹患しました。発症に伴い感染症防止対策に取り組み、6月13日、6月24日には感染症対策委員会を開き、蔓延対策の強化を図りました。

(1月16日～1月28日) 嘔吐・下痢発症について

利用者が発症し、その後職員が発症し、終息までに利用者37名、職員7名罹患しました。

集団発症に伴い26日27日の2日間にわたり八幡浜保健所から現地調査に来られ、嘔吐物等の処理、衛生用品の整備等の指導を受けました。また、23日、26日、27日と感染症対策委員会を開き、蔓延の強化を図り職員への周知徹底を図りました。

- インフルエンザ予防接種<季節性と新型の混合ワクチン>87名実施。(12月11日～12月18日)
- 口腔ケアについて、園内研修会を実施しました。職員対象に歯磨きの実技及び義歯の取扱い方法等の研修を受けました。
- 運動機能低下予防のため、健康運動指導士の落智子氏に依頼し、毎月1回スマイル体操を実施しました。

今年度に車椅子と歩行器の利用者が1名ずつ増え、車いす利用者9名、歩行器利用者8名と杖の利用者1名となりました。毎日の日中活動・余暇の時間等で体操等取り入れて、低下予防に取り組みました。

○ 通院状況

病気治療のために通院を実施し、投薬、処置等を行いました。

診療	通院		状況	主な疾病
	実人員	延人数		
内科	90名	2025名	72名継続治療中	高脂血症 慢性肝炎 肝硬変 肝腫瘍 膵臓癌 心臓病 狭心症 ペースメーカーチェック 高血圧症 慢性胃炎 十二指腸潰瘍 IgG サブクラス欠損症 高尿酸血症 痛風 慢性気管支炎 喘息 貧血 糖尿病 便秘症 腹部膨満 骨粗鬆症他
外科 整形外科	39名	224名	21名継続治療中	外傷・打撲 便秘症 腸閉塞 腰椎圧迫骨折 痔核 大腿骨頸部骨折術後 膝蓋骨骨折術後他
精神科	63名	279名	45名継続治療中	知的障害 癲癇 癲癇性精神病 接枝分裂病他
脳神経外科	6名	31名	5名継続治療中	癲癇 脳梗塞 頭部打撲他
耳鼻咽喉科	26名	405名	13名継続治療中	慢性副鼻腔炎 慢性中耳炎 アレルギー性鼻炎 慢性咽喉頭炎 耳垢除去 耳下腺腫瘍術後他
歯科	24名	211名	3名治療中	虫歯治療 歯垢除去 抜歯 義歯作成他

眼 科	20 名	195 名	15 名継続治療中	翼状片 白内障 緑内障 角膜びらん 結膜炎他
皮膚科	57 名	183 名	26 名継続治療中	爪白癬 白癬 皮膚炎 脂漏性湿疹 鶏眼他
泌尿器科	8 名	48 名	8 名継続治療中	神経因性膀胱 夜尿症 尿失禁 精巣腫瘍術後他
婦人科	1 名	4 名	1 名継続治療中	卵巣腫瘍術後
呼吸器科	4 名	13 名	2 名継続治療中	肺がん術後 浸潤影経過観察中

○ 入院状況

H25・2・18～H25・4・15	大洲病院(内科)	肝硬変症、肝不全、腎不全、貧血、肺炎、麻痺性ウイルス、腹水症等で入院を繰り返している。
H25.5.9～H25.6.3	〃	
H25.6.7～H25.6.30	〃	
H25.7.6～H25.10.4	大洲中央病院(内科)	
H25・4・27～H25・7・27	大洲中央病院(内科)	入院治療中に退園する。
H25・7.25～H25.7.26	大洲病院(内科)	麻痺性ウイルスで入退し、入院治療中に退園となる。
H25.10.22～H25.10.23	〃	
H25.11.18～H25.12.13	〃	
		S 字状結腸切除術受け、退院後は定期通院治療中。
H25.9.8～H25.9.11	県立中央病院(眼科)	両成熟白内障手術
H25.9.13～H25.10.2	喜多医師会病院(内科)	重症肺炎（左胸膜炎）
H25.9.19～H25.9.24	大洲中央病院(内科)	急性細菌性腸炎
H25.11.26～H25.11.30	大洲病院(内科)	偽性腸閉塞
H25.12.21～H26.1.16	大洲中央病院(脳外科)	脳梗塞疑いで治療受け、退院後は定期通院治療中。
H26.1.26～H26.1.29	県立中央病院(眼科)	後のう下白内障手術し、退院後は近医定期通院治療中。
H26.1.30～H26.2.14	大洲病院(整形外科)	左側股関節炎、左股関節症
H26.3.11～入院中	大洲病院(整形外科)	左大腿骨転子部骨折

○ 広報誌「つばさ」の中に健康だよりを掲載し、近況をお知らせしました。

食事サービス

管理栄養士 米澤侑子

(1) 給食状況(食数)

	検食時間	検食者	喫食時間	施設入所	就労移行	センター	短期入所	日中一時	計
朝	7:30	宿直補助者	7:45	31,548		0	597	1	32,146
昼	11:30	施設職員	12:00	27,464	3,513	3,930	677	310	35,894
夕	17:30	宿直補助者	18:00	31,533		0	690	87	32,310
計				90,545	3,513	3,930	1,964	398	100,350

(2) 調理従事者

管理栄養士	調理員	計
1名	6名	7名

(3) 給与栄養目標及び給与量

栄養素	基準値	給与量	栄養素	基準値	給与量
エネルギー	1,930kcal	1,852kcal	V.B2	1.40mg	1.27mg
たんぱく質	62.0g	65.9g	V.C	100mg	145mg
脂質	48.0g	39.4g	食物繊維	19.0g	15.1g
炭水化物	313.6g	304.0g	食塩総量	8.3g	7.3g
カルシウム	1,100mg	1,085mg	炭水化物エネルギー比率%	65%	66%
鉄	17.0mg	16.5mg	脂質エネルギー比率%	22%	19%
V.A	797 μ g	662 μ g	たんぱく質エネルギー比率%	13%	14%
V.B1	1.24mg	1.88mg			

(4) 食品構成及び給与量

食品群		構成値(g)	給与量(g)	食品群		構成値(g)	給与量(g)
魚介類	生	55g	54g	いも類	いも類	60g	44g
	干物・乾物・塩蔵	5g	3g		いも加工品	5g	4g
肉類	練製品	10g	9g	果実類	果実類	80g	68g
	肉類	55g	66g		加工品	5g	2g
乳・乳製品	加工品	10g	8g	穀類	米	250g	244g
	牛乳	180g	181g		パン	25g	27g
卵類	乳製品	45g	63g		めん類	20g	22g
		20g	23g		その他の穀類	2g	2g
野菜類	緑黄色野菜	160g	138g	豆類	大豆・その他の豆	5g	1g
	その他の野菜	200g	215g		大豆製品	40g	36g
きのこ類	乾燥野菜	5g	4g	油脂類	油脂類	13g	7g
	野菜漬物	4g	2g		調味料	調味料	200g
藻類		3g	1g	砂糖及び甘味料		10g	10g
				その他の食品		35g	58g

種実類		3g	1g	菓子類		2g	1g
-----	--	----	----	-----	--	----	----

(5) 食事形態(重複)

一般食	人数	特別食	人数
普通食(特大)	15名	減塩食	14名
普通食(大)	30名	油抜き食	30名
普通食(小)	18名	減量食	25名
		アレルギー食	1名
		刻み食	35名

(6) 行事食

実施月日	行事	内容	実施月日	行事	内容
5月5日	端午の節句	柏餅	12月27日	忘年会	鍋料理
7月1日	創立記念日	記念日メニュー	12月31日	大晦日	年越しそば
7月8日	七夕	そうめん	1月1日	元旦	おせち料理
8月15日	お盆	おはぎ	1月7日	七草がゆ	七草がゆ
10月20日	家族交流行事	いもたき	2月3日	節分	巻き寿司
10月24日		栗ご飯	2月14日	バレンタイン	チョコレート
12月8日	餅つき	あん餅	3月3日	桃の節句	ちらしずし
12月25日	クリスマス会	バイキング料理 クリスマスケーキ	3月21日	春分の日	おはぎ

(7) 食中毒防止対策

- ・調理従事時の手洗いの徹底
- ・喫食2時間前調理の実施
- ・月1度の検便の実施（ノロウイルス検査を含む）
- ・調理後の食品は適切な温度管理のもと保管
- ・調理場の定期的な清掃
- ・原材料の適切な下処理・洗浄(場合により消毒)
- ・加熱調理食品の十分な加熱(中心温度85℃1分以上の加熱)
- ・調理従事者の毎日の健康チェック

生活介護（定員 75 名）

サービス管理責任者 中野利子・祖母谷洋子

日中活動班を、手工芸班・農園芸班・生活班・訓練班の 4 班とした。

8 月に職員の退職に伴い、利用者の適性や希望によって 5 名の班移動を行った。7 月・10 月に入院後 3 カ月経過しても退院の見込みがなかった為、2 名の利用者が退所された。各班の中で、利用者の状況に沿った活動を行った。

生産活動で出来た製品は、主に大洲市都市整備課、清流園、大洲市学校給食センター、沖浦自治会、上須戒保育所、とみす寮、地域の方々や職員から注文を受け販売した。園内行事の「桃太郎工房祭り」「家族交流」「イルミネーション」「手をつなぐ育成会のクリスマス会」、地域行事の「大洲隣保館まつり」「福祉と健康づくり市民の集い」に参加し、販売活動を通して、交流を図ることが出来た。

年間活動で得た収益を一人当たり 6504 円工賃として支給することが出来た。

（1）手工芸班

責任者 西川勝典

【利用者数】 4 月～7 月 17 名（男性 12 名・女性 5 名）

8 月～3 月 12 名（男性 7 名・女性 5 名）

【支援員】 ◎西川勝典・坂田真知子・吉岡敏弥（4 月～7 月退職）3 名

【支援内容】

木工製品（ベンチ、プランター、月見人形、雛人形）手芸製品（アクリルたわし）作りに分かれて活動支援を行った。

木工製品作りではペーパー掛け、組み立て、仕上げにおいて、カットした木材をサンドペーパーで表面を綺麗に磨くように支援を行った。

手芸製品作りではアクリルたわしを製作し、毛糸で寸法通り編むように支援を行うが、仕上げは難しいため支援を行った。編み物が苦手な人は、ビーズ通しの練習を取り入れた。

レクリエーションを年に 3 回実施し、事前に利用者の方の意見を聞きながら計画を立て、8 月は映画館での鑑賞と外食、12 月は長浜町の展望公園やふれあい会館での作品展の見学、3 月は菜の花畑の散策と図書館を見学し楽しい時間を過ごした。

また、講師による、「スマイル体操」に参加し、心身ともにリフレッシュすることが出来た。

【利用者の状況】

健康管理には十分注意をし、個々の能力や体力に応じて無理のない活動を行いました。活動場所までの移動が困難な方や所在確認が必要な方への移動支援を行った。また単純な活動の繰り返しの為、軽運動やゲーム等を取り入れ気分転換を図りながら実施した。6月中旬頃と1月下旬頃には嘔吐下痢症状の感染症が流行したため手洗い、うがいの励行に加えて消毒を使用した拭き掃除、カーテン洗いや嘔吐物処理の徹底を強化し予防に努めた。また、職員の退職に伴い8/2から男性5名が農園芸班に移動となる。

【事業計画に対する実行と反省点】

事業計画に基づき、木工製品（ベンチ、プランター、月見人形、雛人形）は、販売時期に間に合うよう製品を作り、ベンチやプランターについては注文を受けてから製作したので少し時間がかかった。手芸製品については、アクリルたわしの製作を継続し行ったが、販売に向けては即売に出すが流行やどこにでもある物なので、あまり売れなかった。今後の課題として製品開発に向けて検討していきたい。

【地域交流・販売】

地域行事、園内行事等で販売を行う。ベンチやプランターは個人的に注文をいただき、利用者、支援者で協力し納品することが出来た。地域の方々とも交流ができ、作業意欲も高まった。

【総括】

製品作りに携わることが出来る利用者は少ない状況だったが、木片磨き、ビーズ通し、編み物の練習を通して、製品を作る楽しみや販売することにより地域社会との交流や工賃を得ることの喜びを感じる事が出来た。

(2) 農園芸班 責任者 水本百合子

【利用者数】 4月～7月 12名（男性7名・女性5名）

8月～3月 17名（男性12名・女性5名）

【支援員】 ◎水本百合子・中岡靖之・西山めぐ・木村龍之(10月～3月) 4名

【支援内容】

農業作業は、農場でジャガイモ、玉ねぎを栽培した。苗の定植、肥料施肥、草引きなど作物の収穫まで農場の管理を支援しながら一緒に行い、収穫し販売できた。

園芸作業はサルビア、マリーゴールド、パンジーの草花を中心に栽培しました。草花の播種から始まり、ポット取り、散水など生産に向けての管理を手順に沿って支援した。また、花壇の手入れや除草など草花栽培が楽しめるよう支援した。冬場はハウスでの活動は寒いので屋内での活動を増やし、屋内でポット拭きなどを行い春に向けての準備をした。また、ラジオ体操やス

トレッチ、軽運動をして体力作りをしたり、園内清掃に取り組んだりした。

レクリエーションは、利用者の方の意見を聞きながら計画をし、年に3回実施、8月に上須戒での梨狩り、1月は大洲神社へ初詣とバイキング、3月は徳森公園の散策を楽しく実施することができた。また、講師の方によるスマイル体操も3回参加し、心身共に楽しい時間を過ごした。

【利用者の状況】

個々の能力や体力に応じて作業を分担し、農場作業や草花の栽培を皆で協力して行いました。また、戸外での作業が多いため、夏場は熱中症にならないように注意し、水分補給や衣服の調節など健康面に気をつけながら行った。冬場は感染症にならないよう手洗い、うがいの励行に努めた。

【事業計画に対する実行と反省点】

事業計画に基づき、野菜や草花の栽培を行った。玉ねぎは大洲給食センターに納品することが出来た。ジャガイモも栽培したが生育が悪くて収穫量は少なく、桃太郎工房の夏祭りで販売した。草花は大洲都市整備課より夏と冬に大量に注文を受け、納期に合わせて花を栽培し納品しました。大量に生産することで花の種類も豊富になり、一般販売も充実し、生産も例年に比べ大幅に上回る事が出来た。利用者も忙しい時期があったが、それぞれが責任や意欲を持って作業に取り組むことが出来た。

【地域交流・販売】

大洲都市整備課に納品した草花は、大洲駅周辺や緑地公園へ定植され、ボランティアの方が植えられたこともあり、育成園で草花を生産、販売していることを知って頂く良い機会になった。また、利用者にも良い励みになり、生産することの喜びを感じることが出来た。野菜の納品や草花の販売も順番で行き、販売の手応えを直接感じる事ができ作業への意欲に繋がった。

【総括】

野菜や草花の栽培を通して、育てていくという楽しみや販売する責任感を育むことが出来た。また、野菜の収穫や草花の作業など、それぞれの仕事を認め合い、励ましながら取り組むことが出来た。また、戸外での作業は季節感を感じることができ、穏やかな環境の下、皆が落ち着いて楽しく活動することが出来た。

(3) 生活班

【利用者数】 23名（男性11名・女性12名）

【支援員】 ◎石間明彦・富士耕一・松本直美・梶谷富美庫・西村由美
・天野愛・岩津哲也（7月より） 7名

【生活支援】

体調管理～日課の中で検温、必要者に応じて血圧測定を行い体調の観察を行

った。排便状況の観察を行い、状況を看護師に報告し、緩下剤・坐薬などの使用を行って排便のコントロールを行った。

身だしなみ～季節や気温に応じた調節、外出時の服装を支援し、男性は髭剃りの支援を行った。

排泄～トイレでの排泄習慣が得られるように、定期的にトイレへの誘導を行った。

居室整理～居室の清掃、寝具の整えを行い、洗濯後の衣類収納や整理、季節に応じた衣替えを行った。

食事支援～健康に応じた食事内容を提供し、必要者にはエプロン、スプーンを使って食事が行えるようにし、好き嫌いなく食事摂取が出来るように介助を行った。

入浴支援～15:00より入浴を開始し、洗体、洗髪の支援をし、身体に応じて特殊浴槽での入浴を行い、ゆっくりと入浴が楽しめるようにした。
入浴日には着替えの準備を行った。

移動支援～身体状況、体調に応じて歩行器、車椅子、手すりを使用し、移動時の介助を行った。歩行時には転倒して怪我をしないように安全な移動の支援を行った。

園外活動～利用者の要望を聞きながら、担当支援員と買い物に出かけたり、地域の行事に参加したりして、園外での活動が楽しめるように計画を立て実施した。

【活動】

午前～生活支援後、2F 会議室に移動し、リズム運動やストレッチ運動を行い、個々に応じて関節の運動や便秘症状の利用者には腹部のマッサージなどを行った。カラオケや輪投げ、ボーリングゲーム、季節の壁面飾りや行事に使用する飾り物作りを行った。活動中には音楽をかけ、情緒の安定を図りながらリラックスして活動が楽しめるように行った。

午後～フロアやグラウンドでの歩行運動、ストレッチ運動を中心にを行い、天候が良い時は屋外での日光浴を実施し、体力、運動機能低下の防止を行った。
手ふきタオルたたみや洗濯物の片づけ、室内の整理などを行った。

スマイル体操～専門講師を招き、手足を動かす体操、ボールや布を使用した運動、声に出して口ぱく運動などを行い、体を動かして体操が楽しく行うことが出来た。

レクリエーション～年間に3回実施した。園外に出て公民館や飲食店、福祉センターを利用して、外注したお弁当を食べ、ゲームや風船バレーをして楽しんだ。12月のレクリエーションでは、忘年会を兼ねて会食や

カラオケを行って活動を楽しんだ。

【利用者の状況】

健康状況、身体状況より歩行器や車椅子を使用する利用者が増えた。体力や運動機能の低下を防止するために、機能訓練やリハビリ、歩行運動などを実施した。

情緒不安定な利用者との間で、押されて転倒し怪我をした利用者もいた。

健康状況から入退院した利用者が7名あり、3か月での退院見込みがなく長期入院となった為7/27男性1名、10/4男性1名の利用者が退所となった。

【事業計画に対する実行と反省点】

事業計画に沿って活動を行ったが、高齢化し、体が硬くなっていく利用者に対して、機能低下防止、筋力低下防止の対応が十分に実施出来なかった。日中の活動内容にも、利用者個々に応じた対応が十分に実施出来なかった。

【総括】

利用者個人の状況に差異はあるが、活動時には音楽を聴いてリラックスして過ごせる環境作りを行った。生活支援の中で、体調把握をし、排便コントロールを看護師と連絡を取りながら対応し、機能低下防止のために歩行運動や機能訓練をすすめ、元気で過ごす事を優先に支援した。

4) 訓練班

【利用者数】 23名（男性9名・女性14名）

【支援員】 ◎城戸千佳・高橋系子・菊池潤一・大森小織・梶谷富美庫（1月～）
松田真裕（～12月）・大野トモエ（3月～）・水口（1月～2月） 6名

【生活支援】

体調管理～日課の中で検温や必要に応じて血圧測定を行い、健康確認を行った。排泄状況の観察を行い、便秘状況の場合には看護師に報告し、緩下剤等を使用し、排便のコントロールを行った。

身だしなみ～季節や気温に応じた服装の着用を支援し、男性は髭剃りの支援を行った。

排泄～トイレでの排泄習慣が得られるように、定期的にトイレへの誘導を行った。

居室整理～居室の清掃、寝具の整えを行い、洗濯後の衣類収納や整理、季節に応じた衣替えを行った。

食事支援～健康に応じた食事内容を提供し、必要者にはエプロン、スプーンを使って食事が行えるようにし、好き嫌いなく食事摂取が出来るように支援を行った。

入浴支援～15:00より入浴を開始し、洗体、洗髪の支援をし、身体に応じて特

殊浴槽での入浴を行い、ゆっくりと入浴が楽しめるようにした。
移動支援～足元の不安定な利用者が多くなり、歩行時には転倒して怪我をしないように安全な移動の支援を行った。

園外活動～利用者と話し合い、担当支援員と買い物等に出かけ、園外での活動をそれぞれが楽しめるように計画を立てて実施した。

【活動】

午前～環境整備として、食堂や食堂前の廊下・利用者玄関付近の掃除を行い、テーブル拭き、窓ふき、掃除機かけ、モップがけ等の各自の出来る事を行った。手ふきタオルやバスタオルのたたみをしたい、との要望があり、洗濯して乾燥されたタオルのたたみを希望者で行った。

午後～フロアやグラウンドでの歩行運動、ストレッチ運動を中心に行い、体力、運動機能低下の防止を行った。個々に応じて関節の運動や便秘症状の利用者には腹部のマッサージなどを行った。活動中には音楽をかけ、情緒の安定を図りながらリラックスして活動を楽しめるようにした。骨粗しょう症治療者がいるので、天候が良い時は屋外での日光浴を実施した。

スマイル体操～年間3回、専門講師の指導の下、手足を動かす体操、ボールや布を使用した運動、発声などを行い、楽しく身体を動かして体操が行うことが出来た。

レクリエーション～年間に3回実施した。バイキングレストランやくるくる寿司で外食を楽しんだ。お花見は雨の為園内で歌やゲームを行い、お弁当を食べて楽しく過ごすことが出来た。

【利用者の状況】

健康、身体状況により、足元の不安定利用者が増えた。体力や運動機能の低下を防止するために、機能訓練として歩行運動等を実施した。白内障手術を受けた者1名、転倒により左大腿骨転子部骨折入院者1名があった。

【事業計画に対する実行と反省点】

事業計画に沿って活動を行ったが、健康や体力、運動機能低下防止の面で利用者個々に応じた対応が十分には実施出来なかった。

【総括】

午前の環境整備では各自が分担を持ち、自分の仕事という意識を少しずつ持つ事ができ、やる気が伺えた。今後は利用者話し合いながら、個性を大切に、各利用者に合った活動を進めていきたい。

就労移行支援事業所「桃太郎工房」 (定員 20 名)

サービス管理責任者 池田隆三

【活動内容】

平成 24 年度より新体系移行に伴い就労移行支援事業所桃太郎工房の利用期間の 2 年間を経過する。平成 25 年度については、事業計画に沿って活動し、就労を希望される障害者に対して必要な知識の習得及び能力の向上を図るため、サービスを提供し地域への移行をサポートする。またスポーツ大会や地域行事等の参加により、地域との交流を図り障害者への理解を深めた。

求職活動ではハローワークや市内の企業を伺い、求人状況を確認するとともに利用者による企業訪問の協力を頂き実施する事ができた。他事業所訪問については、職員研修も兼ねて実施している。桃太郎工房では、パン、クッキー、干支置物、外部作業（草刈）の各作業収益から、毎月工賃を支払った。また、工賃と経費（材料代等）を差し引いた収益については年度末で算出し翌月に一時金として支払った。

宇和島高等技術専門校入校をして職場委託訓練を 4 月中旬から 1 カ月の間、市内飲食店で実施し、その後同店へ一般就労し現在に至っている。前年度 3 月から髭にんにく農場へ就労した利用者 3 名のうち 2 名が退職、新たに 1 名が就職し現在 2 名が働いている。

個別支援計画（就労移行支援）については、3 カ月見直しで実施。職場実習においては 1 週間で見直しを行い製造技術、知識、職場定着、就労意識の向上を支援した。

大洲育成園では、現在グループホーム、ケアハウスがなく就労後のサポート体制が整っておらず、利用者の平均年齢も高くなり就労移行支援の事業所継続が困難な状況が予想されるため、次年度は就労移行支援と就労継続支援 B 型の多機能型事業所を予定したい。

【利用者数】	15 名（男性 9 名・女性 6 名）*6 月より一般就労により男性 1 名減
--------	---

【担当職員】	6 名 サービス管理責任者 池田隆三 職業指導員 大野尚美、 就労支援員 山本隆二 生活支援員 森康子、谷山洋二、二宮富子
--------	--

【利用者支援】

- ・ 個別支援計画に基づき個々の知識及び技術向上、良好な人間関係の構築、販売等による就労意欲の向上について支援する。
- ・ 食品衛生及び感染症予防の為、就労棟、作業場の清掃消毒を毎日実施。また、感染症予防対策園内研修にも参加し食品製造前の手洗いは確認支援を続け、エプロン、帽子の洗濯や環境整備の支援を継続した。
- ・ 食品衛生管理上食品製造者全員の検便を年 3 回（4 月 8 月 1 月）実施する。

【実行と反省点】

- ・ パンの新商品（塩パン、ミックスパン）を発表し、売れゆき好調である。
売れ筋商品の継続生産と売上の落ちている商品の生産見直しや新商品開発に努め、利

用者の工賃アップを目指す必要がある。

- ・ 夏まつり、イルミネーション等行事にはパン、クッキーの販売を実施したが天候により売上数に差が生じるため、パンについてはロスが出ないように計画した。
- ・ クッキーについては、行事等による即売にあわせた製造に取り組み、年間を通して継続し製造することが出来た。
- ・ 干支置物については、5月から製造を開始し10月には生産を完了する。前年度製造数を100個増量し昨年度の販売先と新たな販売先への営業を行うも、約90個程在庫になった。
- ・ 外部作業（草刈）では県住宅と個人の栗畑の草刈りの2件の依頼があった。忍知度はまだ低くPR活動が必要である。
- ・ 宇和島高等技術専門校とハローワークからの協力もあり、H25,3月から農業関係（にんにく農場）へ利用者3名が就労し職場定着支援を続けたが、12月に男性利用者、H26,2月に女性利用者がそれぞれ利用者側の希望で退職する。いずれも就労意識の低下が原因で仕事を徐々に忘れ、続けることが出来ない状況であった。
中華料理店への就労者については職場定着の支援を続け、現在も勤務している。
- ・ 就労棟（パン、クッキー工房、多目的室兼食堂、トイレ等）の消毒、清掃は月曜日から金曜日まで毎日行い感染予防、衛生管理に努めている。

【販売先・地域交流】

- ・ 主な販売先は、とみす寮・大洲市総合福祉センター・大洲学園・清和園・大洲幸楽園・白石商店・ミスト・くみあい食品・JA支所他、長浜ひまわり、各種園内行事と地域での文化祭、福祉と健康づくり市民のつどい、七社参りでの販売を行う。パン、クッキー、干支の販売には利用者も参加し、地域の方々とのコミュニケーションの場になり、労働意欲の向上にも繋がっている。

【総括】

- ・ パン、クッキーの製造、販売の中で、食の安全を重視し衛生的な食品の取り扱いに注意し、食品衛生法により定期的に検便を実施した。
- ・ 桃太郎工房で製造した製品を販売する事で安定した工賃を支払う事が出来、年度末で算出し一時金を定員14名へ支給する。次年度はさらに販売数の向上を目指し、利用者の工賃アップに努める。
- ・ 求職活動を通して3名の利用者が就労し（中華料理店へ1名、にんにく農場へ2名）定着を目指しているが、行政から一般就労者は施設入所支援のサービスは受けることが出来ないとの指摘がある。施設入所支援を利用するため、一旦退職をして平成26年度からは、就労継続支援B型を利用した職場実習となり雇用主と新たに契約をする。

13. 実習生・ボランティア受け入れ

主任指導員 徳永香代子

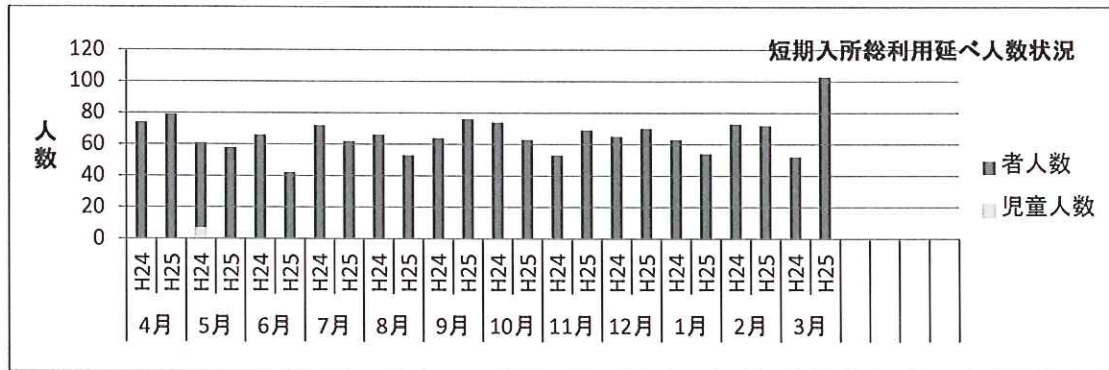
月	日	曜	学校・団体名	内容	参加者
5	22 (月)	～	ボランティア 河原医療福祉専門学校	日中活動のサポート	3名
	24 (金)				
	25		ボランティア	趣味の披露	1名
6	24 (月)	～	愛大生	福祉施設体験実習	6名
	29 (金)				
	25		ボランティア 河原医療福祉専門学校	日中活動のサポート	1名
7	29 (金)	～	大洲北中学校	ワークキャンプ	3年生 3名
	31 (水)				
8	10	土	ボランティア	桃太郎工房夏祭	学生・一般 57名
9	10	火	大洲警察若手警察官	交流会	12名
	13	木	平小学校	福祉施設学習	5年生56名 引率教員4名
10	8	火	平小学校	福祉施設学習	5年生56名 引率教員4名
10	8 (火)	～	大洲北中学校	福祉施設体験実習	3年生 12名
	11 (金)				
11	15	金	平小学校	施設活動実習	5年生56名 引率教員4名
12	7	土	ボランティア	イルミネーション	31名
	8	日	一歩会	交流会	20名
	25	水	喜多法人会	交流会	4名
2	13	木	ボランティア	日中活動のサポート	1名

短期入所事業

サービス管理責任者 祖母谷洋子

1, 実施利用状況

項目	児童	障害者	合計	前年度実績
定員	4名			
契約者	0名	21名	21名	20名
利用者延べ人数	0名	801名	801名	783名
開所日数	365日			365日
一日平均利用者人数	0.0名	2.2名	2.2名	2.1名

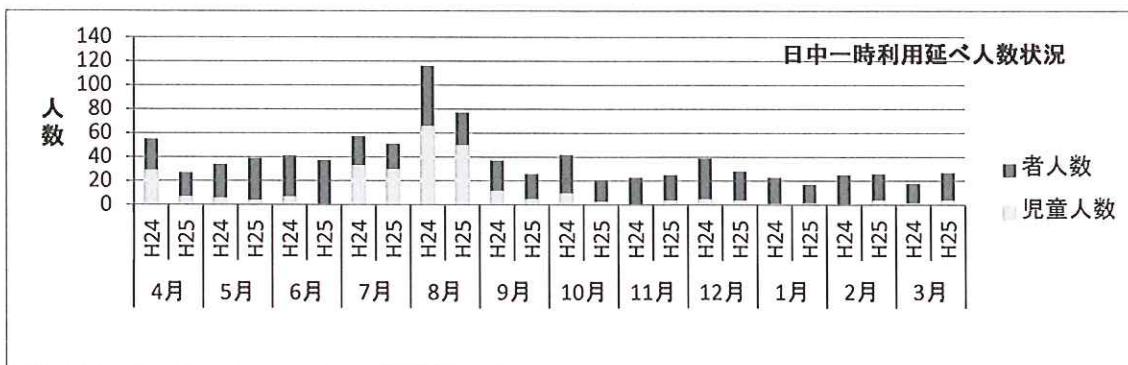


日中一時事業

サービス管理責任者 中野利子

1, 実施利用状況

項目	児童	障害者	合計	前年度実績
契約者	6名	18名	24名	30名
実利用者人数	33名	91名	124名	140名
利用者延べ人数	117名	284名	401名	510名
開所日数	365日			365日
一日平均利用者人数	0.3名	0.8名	1.1名	1.4名



生活介護・施設入所支援の支援内容に基づいて、支援を行いました。

地域活動支援センター

指導員 二宮弘光、小林友紀、米澤昌史

1. 利用状況

項目	平成25年度			平成24年度		
定員	15人以上			15人以上		
契約数	26人	男性	13人	26人	男性	13人
		女性	13人		女性	13人
開所日数	250日			248日		
延べ利用者数	3,900人	1日当たり		4,100人	1日当たり	
		15.6人			16.5人	
延べ給食利用者数	3,896人	1日当たり		4,114人	1日当たり	
		15.6人			16.6人	
延べ送迎利用回数	6,195回	1日当たり		6,559回	1日当たり	
		24.8回			26.4回	

※7月から利用開始された利用者が1人、また平成26年2月から利用開始された利用者が1人ありました。

平成26年3月31日現在

内 訳							
年齢構成		20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	合計
				11人	11人	2人	0人
地域別	大洲市	10人	10人	1人	0人	2人	23人
	内子町	1人	1人	1人	0人	0人	3人
障害状況	A	11人	7人	2人	0人	1人	21人
	B	0人	4人	0人	0人	1人	5人
障害程度区分	2	1人	2人	0人	0人	1人	4人
	3	3人	5人	2人	0人	1人	11人
	4	4人	3人	0人	0人	0人	7人
	5	2人	1人	0人	0人	0人	3人
	6	1人	0人	0人	0人	0人	1人

2. 活動内容

契約書・重要項目説明書に基づき、支援を行った。

利用者支援においては、個々の解決すべき課題を把握し、利用者や保護者の意向を踏まえて基本的な生活習慣が身につくよう、また地域生活への適応性を高め、楽しく活動でき、自立した生活が送れるよう支援を行った。また、健康状態の把握を行い、早期の対応に努めた。

(1) 創作活動

- ・手芸 毛糸の編み物、アクリルたわし作り。
- ・工芸、絵画 季節を表現した壁面作りを年7回行った。
七夕飾り（笹飾り）作りに取り組んだ。
- ・園芸 中庭で草花の栽培をした。
- ・カラオケ 個々の歌いたい曲を歌ったり、リズムを取って楽しんだ。

生産活動

- ・リサイクル 空き缶(アルミ缶)リサイクルは、週2回活動に取り組み行った。

	25年度	24年度
生産数	550.0 kg	480.0 kg
収益	22,000円	26,200円

空き缶リサイクル活動の収入については、一人当たり 957円 工賃として支払った。

(2) 機能訓練

- ・日常生活動作 食事・排泄・歯磨き・更衣などを必要に応じて支援を行った。
- ・歩行 健康増進と肥満対策のため、個々の利用者の身体状況に応じた歩行を行った。また、雨天時には、音楽に合わせて室内歩行・ストレッチ体操を行った。
- ・家事訓練 清掃活動を通して、掃除機掛け・拭き掃除・ガラス拭きを行った。昼食時には、テーブル拭き・配膳・片付けを行った。
調理実習で肉まん、シチュー、お菓子作りをした。(3回)

(3) 社会適応訓練

- ・言葉や生活マナーなど 挨拶することを始め、交流の中で気持ちよく生活できるように心がけた。
食育体操を行い、食に関心を持ち、マナーや感謝することを伝え行った。
- ・社会体験 施設の行事、障害者福祉協会などの行事を通し、他の施設の利用者との交流を深めることができた。
- ・相談、援助 利用者及びその家族の方からの相談に可能な限り必要な支援に努めた。
- ・スポーツ・レクリエーション フライングディスクやレクリエーションバレーボールなどのスポーツ、風船バレー、ボーリング、ダンスなどのレクリエーションを楽しんだ。
- ・健康指導 検温、血圧測定、体重測定等を通して健康状態の把握に努め、異常が見られた場合には、保護者に連絡し対応に努めた。

(4) 給食サービス

利用者の状況に応じて、刻み食・油抜き食・マンナン食・主食の大小などを用意し、食事支援・配膳支援を行った。

(5) 送迎サービス

大洲市・内子町を送迎実施区域として、安全運転を心がけ送迎を行った。

3. 年間行事と内容

月	日	曜	行事人	場所	内容	参加者
5	16	木	歯科検診（歯科巡回診療）	会議室	愛媛県歯科医師会による心身障害者歯科巡回診療。	17人
	22	水	レクリエーション	肱川風のり広場	公用車で公園に行き、ゲームをしたり宝探しをする。	19人
	26	日	愛媛県障害者スポーツ大会	愛媛県総合運動公園	フライングディスクに出場。	4人
6	15	土	南予レクリエーションバレーボール大会	八幡浜スポーツセンター	入所利用者と一緒に南予レクリエーションバレーボール大会に参加	3人
	19	火	警察職員との交流会	日常生活訓練室	警察職員とジャンボカルタ取り、カラオケで交流する	15人
	27	木	調理実習	日常生活訓練室	肉まんとコーヒージェリーを作る。	17人
7	9	火	クリーンセンター（リサイクル）	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル・販売。	17人
	17	水	レクリエーション	長浜	あらし展望台、長浜海水浴場を散策。	19人
8	7	水	大掃除	日常生活訓練室	床掃除、窓拭き、ワックス掛け。	15人
	10	土	桃太郎工房夏祭り	グラウンド	バザー、アトラクションを楽しむ。	12人 保18人
9	4	水	スマイル体操	日常生活訓練室	蒔講師を招き、リズム体操などを行う。	14人
	10	火	警察職員との交流会	日常生活訓練室	警察職員とジャンボカルタ取り、カラオケで交流する	18人
	20	金	ミニ運動会	大洲フラワーパーク	家族の方も応援に来られ、玉入れ、リレーなどを行う。	18人
10	8	火	平小学校児童との交流会	日常生活訓練室	児童10人が来園し、軽運動を一緒に行う。	16人
	9	水	北中生・福祉体験学習	日常生活訓練室	大洲北中3年生、1人終日参加し実習する。	15人
	17	木	クリーンセンター（リサイクル）	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル・販売。	14人
	20	日	家族交流会（いもたき）	日常生活訓練室	入所更生と合同。	6人 保9人
	21	月	避難訓練	グラウンド	火災を想定して避難訓練を行う。	14人
	23	水	障害者スポーツのつどい	大洲市総合体育館	雨天のため、大洲学園グラウンドから総合体育館へ変更	15人
11	12	火	調理実習	日常生活訓練室	クリームシチューとパンを焼く。	18人
	15	金	平小学校児童との交流会	日常生活訓練室	児童10人が来園し、歌、ゲームなどを一緒に行う。	17人
12	7	土	イルミネーション	育成園	バザー。イルミネーション鑑賞。	14人 保20人
	24	火	大掃除	日常生活訓練室	床掃除、窓拭き、ワックス掛け。	17人
	25	水	クリスマス会	日常生活訓練室	「ラブ&ピーチ」の歌とダンス。昼食バイキング	17人
1	2	木	初詣	一之宮神社、天満神社	参詣。	5人
	10	水	書初め	日常生活訓練室	好きな言葉、抱負。	16人
2	3	月	節分 豆まき	日常生活訓練室	豆まきゲーム。	16人
	19	水	スマイル体操	日常生活訓練室	蒔講師を招き、リズム体操などを行う。	16人
	24	月	調理実習	日常生活訓練室	ミネストローネ、マフィンを作る。	17人
	25	火	避難訓練	グラウンド	地震を想定しての避難訓練を行う。	17人
3	26	水	クリーンセンター（リサイクル）	クリーンセンター	アルミ缶リサイクル・販売。	19人
	27	木	レクリエーション	内子町八日市、知清公園	清正公園周辺、知清公園で散策、弁当を食べる。	17人

相談支援事業所 大洲育成園

相談支援専門員 橋本哲志

I 障害児等療育支援事業

障害児（者）の地域での生活を支えるため、療育に関する相談・援助、各種福祉サービスの提供・調整を行いました。

【療育支援実績】

対象地域（大洲市・八幡浜市・内子町・伊方町）

事業名	内容	件数
在宅支援訪問療育等事業	支援スタッフが地域や家庭に訪問し、本人や家族からの相談に応じ家庭生活においてのアドバイス・援助をしました。	43
在宅支援外来療育等事業	本人や家族の方に来園して頂き、諸々の相談に応じるとともに療育に関する必要なアドバイス・援助を行いました。	100
地域支援一般指導事業	福祉事業所などに行き、在宅障害児（者）の保育・療育に関する相談を受け、必要に応じて専門機関の支援を頂きながら助言・援助を行いました。	6
合計		149

II 相談支援事業

地域で生活している当事者やその家族からの相談を受け、福祉サービスの利用援助に関する情報提供、社会資源を活用するための助言指導等、社会生活力を高めるための支援、権利擁護のために必要な援助、専門機関の紹介、関係機関や学校との連絡調整などの地域で生活していくための支援を夜間の緊急時の相談を含めて対応しました。

また、各市町の障がい者自立支援協議会の運営も行いました。

相談支援実施状況	大洲市		八幡浜市		内子町		合計	
	者	児	者	児	者	児	者	児
実人数	40	3	9	0	6	2	55	5
延件数	221	12	67	0	108	5	396	17

相談支援実施方法	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
訪問	133	45	31	209
来所	12	3	1	16
同行	14	3	5	22
電話	56	9	56	121
電子メール	0	0	0	0
個別支援会議	5	2	5	12
関係機関	13	4	15	32
その他	0	1	0	1
計	233	67	113	413

相談依頼者状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
本人	122	42	79	243
家族	12	20	11	43
地域住民	2	0	0	2
民生委員	4	0	0	4
医療機関	2	0	1	3
学校	2	0	0	2
市役所	10	3	6	18
関係機関	18	3	16	37
その他	0	0	0	0
計	172	67	113	352

相談内容状況	大洲市	八幡浜市	内子町	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	97	16	24	137
障害や病状の理解に関する支援	0	2	4	6
健康・医療に関する支援	29	11	21	61
不安の解消・情緒安定に関する支援	21	1	35	57
保育・教育に関する支援	3	6	22	31
家族関係・人間関係に関する支援	11	4	34	49
家計・経済に関する支援	13	2	1	16
生活技術に関する支援	26	10	10	46
就労に関する支援	22	11	3	36
社会参加・余暇活動に関する支援	1	0	0	1
権利擁護に関する支援	28	4	1	33
その他	14	0	1	15
計	265	67	156	488

Ⅲ 特定相談支援事業・障害児相談支援事業（計画相談支援）

今年度より、大洲市から指定特定相談支援事業所者と指定障害児相談支援事業者の指定を受け、大洲市・内子町に在住する福祉サービスを利用する方に対して、いわゆる計画相談を実施しました。本人・家族の気持ちを聞かせていただき計画を作成し、利用事業所との連絡調整をはかりました。モニタリングについても定期的に行いました。

サービス等利用計画を、101件（者86件・児15件）作成し、モニタリングを97件（者80件・児17件）実施しました。

Ⅳ 大洲市障害者虐待防止対策支援事業・家庭訪問等個別支援事業

（1）内容

障害者虐待の再発防止のため寄せられた情報を基に重点的な訪問をしていき、調整を図ります。今年度は実績ありませんでした。